

議事概要

イベント	第1回 えどがわ防災女性ミーティング
日時	2023年1月15日(日) 13:30~15:15
場所	グリーンパレス
内容	<p>1 ミーティングの趣旨説明：危機管理部防災危機管理課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災危機管理課長より挨拶 ・ なぜ今回のミーティングが開催されたのかを説明 <p>2 区の取組紹介（SDGs）：SDGs 推進センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回のミーティングが、SDGs にも関係することを説明。参加者皆さま一人ひとりの行動が、達成のカギになることや17のゴールの内、どれに該当するのかを説明 <p>3 座学（江戸川区の災害リスク 地震と水害）：危機管理部防災危機管理課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 江戸川区の地勢を知り、地震・大規模水害が起きたらどうなるのか、どのような備えや対応が必要なのか、被害を減らすためにはどうすべきなのか、防災初心者でも知っておいてほしい基礎知識に関する講演 <p>4 座学&グループワーク（女性の視点で被害は減らせる）：地域の防災活動者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の存在が防災において重要であることを知る ・ 行政の力だけで大規模災害に対応できないことを知る ・ 共助、自助が重要なことを再認識する <p>グループワーク</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各グループ内で2・3人のペアを作り、別紙「あれっ、この人大丈夫かな？」に提示されている避難所で様々な状況下に置かれた人の中から特に気になるものを選び、その人の「困っていること」「このままだとどうなってしまうか」「どうしたらいいか」を考え、記載する。 2. ペアで話し合った内容を、各グループで共有する。共有後、1事例を各グループで発表する。 <p>発表内容</p> <p>Aグループ</p> <p>事例：「トイレに行けないみたい...」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トイレに行けない、和式のトイレが使えない、トイレが寒い、車いすでトイレが使えない、怖い、暗い ・ 膀胱炎の心配、漏らしてしまうことへの心配（衣類が汚れてしまったことでの臭いの心配）や周りへ迷惑をかけてしまう（臭い） ・ オムツの準備があると良い、下着を汚さないようにするための工夫、間に合わない事に対して配慮する（我慢していなくても漏らしてしまう方はいるため） <p>お子さんに障害がある方からご意見あり。子どもは一人でトイレを済ませることができる。しかし、介助をしている母は子どもを一人にすることが出来ず、日常でユニバーサルトイレを使用している。もし、災害時に男女別のトイレしかなかったら、息子と一緒にトイレに入る事が難しくなるため、母がトイレに行けなくなる。そのため、災害時もユニバーサルトイレの設置を検討して欲しい。お風呂も似たような状況となる。子ども一人での入浴は難しいため、二人で入ると、小さいスペースでは介助が難しい。</p>

B グループ

事例：「あのお母さん、どこで授乳しているんだろう？」

- ・ スペースに困っている
- ・ 母にストレスがたまる、乳が出なくなる
- ・ 避難所のスペース（ゾーニングを工夫）を子どもがいる家族同士同じ空間にする、お互い意見が言いやすい環境を整える、子どもが走ってしまうことや大声を出してしまっても同じ子どもがいる家族同士なら心配しなくてすむ、弱者への配慮

C グループ

事例：「（避難所運営者）いつ休んでいるんだろう？」

- ・ 人に頼めない、状況の判断ができていない、一人で悩んでしまい、仲間が集まらない
- ・ 過労、いろいろな物事が同時に起こり、把握できず忘れてしまうことがある、避難所の運営がうまくいかない
- ・ 入り口に分担表（役割分担）を掲示し、わかりやすいよう視覚に訴える

D グループ

事例：「今日も一人でぼうっとして動かない」

- ・ 声がかげられない
- ・ 体調の悪化
- ・ ゾーニングを行い、できるだけ知り合いのいる空間をつくる（過去には地域で関係性のあった方もいるかもしれない）、しばらく様子を見て声かけを行う、気にすることからスタートする、日ごろからコミュニケーションをとることで災害時も安心できる

E グループ

事例：「この子、こんなに乱暴だった？甘えん坊だった？」

- ・ 発散する場がない、自分たちの状況をうまく言語化できない
- ・ 心身ともに疲弊、今は問題ないように感じても将来が心配（PTSD）
- ・ 周りの大人が子どもに寄り添う、元保育士等経験ある方の活用、心理カウンセラーの活用、発散できる場をつくる

グループワーク

1．各グループ別紙「女性の防災へのかかわり度」について、確認する。

- ・ 災害や防災に関心があるか
- ・ 災害や防災について知識を得ているか
- ・ 町内会やマンション組合、職場など何かの防災活動に参加しているか
- ・ 防災活動に関して意見したり、リーダーシップをとる機会があるか

上記4点について、それぞれ「まったくそう思わない」「少しそう思う」「とてもそう思う」のシールを貼る。

2．状況を共有後、それぞれ感じる課題について、付箋に記入し、貼る。

グループワーク については、次回にアウトプットを予定。

以上